



看護学基礎特論、生涯発達看護学特論、他

研究室を目指す皆さんへ

大学院では現象を深く理解し、論理的に考察し伝えるための研究方法を学びます。そのことは、自分が患者さんや子ども達、ご家族に提供するケアの向上につながりますので、看護学はとても役に立つ学問だと感じています。しかし研究には限界があり、全てがくっきりと明らかになるわけではありません。それでも「何がわかって何がわからないか明らかになる」「その方法を知る」ことは、自分の人生を豊かにしてくれると思います。テーマを見つけて一緒に研究してみませんか？



扇野綾子

小児看護学